

質問書に対する回答

(件名) 東京湾アクアライン連絡道 金田高架橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	入札説明書 4-2. 技術評価の評価項目等 工程管理	小櫃川第一橋において、非出水期での施工を考慮して所定の期間内に確実に耐震補強を行うための留意点と対応策（特記仕様書に示す、河川内工事の施工期間における作業）とあり、特記仕様書には施工期間として令和5年11月1日～令和6年5月31日、令和6年11月1日～令和7年5月31日、令和7年11月1日～令和8年5月31日とあります。また、概略工事工程表では施工期間は令和6年11月～令和7年5月となっております。今回の提案書は、特記仕様書のいずれかもしくは複数の期間内で施工する提案でしょうか。それとも、令和6年11月1日～令和7年5月31日の期間内に施工する提案でしょうか。ご教示ください。	概略工程表は参考ですので、施工時期を限定するものではありません。そのため、特記仕様書に示す、非出水期内で施工するとお考え下さい。
2	入札説明書 4-2. 技術評価の評価項目等 工程管理	小櫃川第一橋において、非出水期での施工を考慮して所定の期間内に確実に耐震補強を行うための留意点と対応策（特記仕様書に示す、河川内工事の施工期間における作業）とあり、特記仕様書には構造物名として、P 5 橋脚：河川区域内、P 6 橋脚：河川区域内とあります。今回の提案は、P5・P6橋脚両方に関する提案でしょうか。それとも、P5、P6いずれかの橋脚に限定した提案でもよいのでしょうか。ご教示ください。	P5・P6橋脚両方に関する提案または、P5、P6いずれかの橋脚に限定した提案でも、非出水期での施工を考慮して所定の期間内に確実に耐震補強を行うための留意点と対応策であればかまいません。